

2017年8月22日

朝倉市長 森田俊介 様

九州北部豪雨災害の被災者支援に関する要望書

全国フェミニスト議員連盟

共同代表 ひぐちのりこ(宮城県仙台市議会議員)

共同代表 日向美砂子 (東京都小平市議会議員)

事務局 小磯妙子(神奈川県茅ヶ崎市議会議員)

神奈川県茅ヶ崎市鶴が台 14-5-202 T/F 0467-52-673

私たち全国フェミニスト議員連盟は女性の政治参画を進めるために活動している市民と議員による団体です。

この度の豪雨災害による被災者の方に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、困難な状況の中、関係者による懸命な救助・救援が続けられたことや、土砂や流木等を取り除き道路の復旧を図るなど、迅速な災害対応に対し深く敬意を表します。

さて、住み慣れた我が家を失い、不便な避難所生活を強いられている被災者が約400名いる中、避難所における住み心地の改善を図るとともに仮設住宅での生活にスムーズに移行し、さらに災害時により困難な状況になりかねない高齢者、障がい者、女性、子ども、性的少数者等に寄り添った支援を行うことが、災害関連死の防止にもつながります。

つきましては、当会の活動趣旨に添い、今回の災害の復旧・復興にあたっては、男女共同参画の視点に基づき、女性差別が起こることのないよう配慮することを求めると同時に、以下のとおり要望いたしますので、速やかな対応をお願い申し上げます。

記

要望事項：

- 被災者支援と復興計画全体に、女性の声や意思が反映しやすいシステムを構築すること
 - 東日本大震災等での災害対応において、男女共同参画の視点で復旧・復興に取り組んだ先行自治体と連携し、施策に活かすこと。
- 避難所生活における環境改善について
 - 避難所生活の長期化が見込まれる中、間仕切り等を使用して避難世帯間のプライバシー確保すること。
 - 汗を吸収するタオルケットとダニ防止のためにシーツを提供すること。
 - 高齢者や障がい者等に簡易ベッド(仮設住宅でも使用可能)を提供すること。
 - 誤飲の恐れや嚙む力の弱い高齢者に介護食を提供し、専門職によるサポートを行うこと。
 - 可能な限り、母子や女性のプライバシーと健康・安全確保のために、専用避難所を設置すること。
- 仮設住宅の建設について
 - 転居後、すぐに生活が始められるよう、エアコンはもとより生活必需品をセットで支給すること。
 - 孤立を防止するとともに住民同士が交流するため、集会室の設置などグループリビングを意識した仮設住宅づくりをすること。
- 災害弱者に寄り添った支援について
 - NPOやボランティア等の協力との連携により、避難生活を送る子どもに学びや遊びの機会を提供すること。
 - 母子や女性、子どもの心身の健康と回復を支援すること
- 学生など多くのボランティアを受け入れるため、宿泊拠点を整備すること。
 - NPO等と連携し、災害と復興についての視察など学びの機会を整備すること。

以上